

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		地域運営推進会議に家族や地域の人への参加が少ない。 開催時期や会議のテーマなど、参加しやすくなるような工夫が必要。	家族や地域の人々が会議に参加して、意見交換ができる。	興味を持ってもらえるようなテーマを設定する。 これまで参加してもらっていない地域の人に呼び掛けてみる(学校や他施設など)	12ヶ月
2		家族との関わりを考える。 ホームにまかせっきりせず、協力してほしい。	ホームに来てもらう回数を増やす。	入所しても、家族の役割があることを伝える。 誕生日会を家族の都合に合わせてたり、衣替えや外出支援などの手伝いをお願いする。	12ヶ月
3		利用者の何気ない発言や思いがケアプランに反映されていない。 利用者の本当の思いを理解する。	利用者様の本当の気持ちの入ったケアプランを作成し、残された人生を楽しく過ごせるよう援助する。	利用者の発言を記録に残し、カンファレンスにて本当の思いを記録の中からスタッフ皆で考えケアプランに反映させていく。	12ヶ月
4		「ヒヤリハット」の検討まではできているがその後を活かされていない。	家族にどのようなリスクがあるのか知ってもらう。	家族に手紙で知らせたり、家族会や地域運営推進会議などで報告する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。